

2229、快調に作動してもう10年

埼玉県春日部市・山口尊 様

かつて放送映像技術者だった山口様は、現在は悠々自適のホビー・ライフをエンジョイされています。キャリア50年のアマチュア無線、キャリア40年以上の溪流釣、写真撮影から自家製のタクアン造り、味噌造りに至るまで、驚くほど多趣味な山口様ですが、熱帯魚もまた、大切なホビーのひとつです。

観賞魚飼育歴40年以上という筋金入りアクアリストの山口様は、日本に輸入されたばかりの頃のワットレイ・ターコイズに魅了され、今でも飼育されています。他にも海水魚に相当のめり込んだ時期があったそうです。

そんな山口様とエーハイム外部式フィルターとの出会いは、日本にエーハイム製品が上陸したばかりの頃にまで遡ります。なかでも、初期のエーハイムを使用した後で手にしたウェットアンドドライ2229を高く評価されています。

「2229を使用した水槽の水には、何ていうか“テリ”が出るんですよ」と山口様。



2229も2213も、ともにメンテナンスが容易に行なえるよう、水槽下の広いスペースにゆったりと設置されています。



とても10年にも及ぶ歳月を使い続けてきたとは思えないほど状態がよい2229。山口様の手入れが行き届いているからに他なりません。



こちらは8年以上使用されている2213。2229と同様にコンディション抜群です。

ご愛用いただいている2229は、すでに使用を開始してから10年もの間、快調に作動し続けています。その間、フロートコントロールケースの取り付け部をメンテナンスの際に割ってしまい交換したことで、ロックランプ部を破損してしまっただけで、ポンプにはなんの異常もなくすこぶる良好に運転しているとのこと。

この2229が設置されているのは160×42×50(H)cmの水槽で、ワットレイ・ターコイズをはじめディスクの成魚数尾、幼魚数尾が飼育されています。換水は週に1回、全体の3分の1以下だそうです。

2229自体の掃除は半年から1年に1度ぐらいですが、その際には、本体内部やインペラー部はもちろんのこと、特に吸・排水パイプ、ホースの内部も徹底的に掃除されています。というのも、それらの中に残った汚れは各種の雑菌の温床になるばかりでなく、意外な流量抵抗にもなるからです。

山口様曰く「2229だけでなく、エーハイムの外部式フィルターは本当に“優れモノ”ですよ。これからも大いに愛用させていただきます」。

今後とも、山口様のホビー・ライフの有力なパートナーとして、ぜひエーハイム製品をご愛顧いただければと思います。

ところで、山口様の160cm水槽には、補助として2213も設置されていました。こちらも購入以来8年以上運転を続けていますが、ひとつの異常も生じたことがないとのこと。そして山口様はこういった点を高く評価くださいました。

「他メーカーのポンプ類やフィルター類もいろいろ種類を使ってはみたのですが、やはり耐久性と性能の面でエーハイムに勝る製品はないと思います」。

というわけで、今回の取材ではメーカーとしては本当にありがたいお言葉を何度も賜うことができました。最後に、山口様のホビー・ライフの今後の益々の充実をお祈りしつつ、レポートを終えることにいたします。



山口様の160cm水槽の設置状態。向かって右側が2229、左側が2213。